「共同性の幻想」評価資料

今回評価に使用したもの

１　グーグルクラスルーム課題

２　ジャムボード

３　授業プリント

※上記１・２の入力状況、３の書き込みを確認し評価する。

I-1　事前課題（グーグルフォーム）

共同性の幻想（事前学習）

フォームの説明

このフォームでは、すべての回答者からのメールが自動的に

第１問
「共同性」と聞いて思い浮かぶ言葉を答えなさい。

記述式テキスト（短文回答）

第２問
「幻想」と聞いて思い浮かぶ言葉を答えなさい。

記述式テキスト（短文回答）

第３問
「共同性の幻想」を一読して、興味を持った言葉を挙げなさい。（最大三つまで）

記述式テキスト（短文回答）

第４問
「共同性の幻想」を一読して、よく分からなかった言葉を挙げなさい。（最大三つまで）

記述式テキスト（短文回答）

第５問
「共同性の幻想」を一読した感想を簡潔に答えなさい。

記述式テキスト（短文回答）

1-2-1　事後課題（グーグルフォーム）①

事前と事後の課題をグーグルフォームで作成し、クラスルーム課題として入力させている。

先の1-1の事前課題については、スプレッドシートからテキストをコピーしてテキストマイニングに起こしたものを、授業の導入に用いている。

第１問

「共同性の幻想」の内容は理解できましたか。あてはまるものを選びなさい。

- ○ 深く理解した。（ここでの学びを今後の生活に活かしたい。）
- ○ だいたい理解した。（こういう考え方もあるんだと知った。）
- ○ 少し分からないところがある。（よく分からない言葉があった。）
- ○ 全然理解できない。（何を言っているのか分からなかった。）

第２問

「共同性の幻想」を学び終えて、印象に残った言葉、もしくは、深めたい言葉を本文から抜き出しなさい。

（最大三つまで。複数の場合、読点（、）で区切ること。）

記述式テキスト（短文回答）

I-2-2　事後課題（グーグルフォーム）②

事後課題の入力内容については、長文による自分の意見を求めている。これは、単元で身につけたことを今後に活かしてもらうためである。

こうした入力について、主体的に学習に取り組む態度の評価対象の一つとしている。

第３問

「共同性の幻想」の要旨を百字以内にまとめなさい。

記述式テキスト（長文回答）

第４問

「共同性の幻想」にふさわしいコピーを考えて書きなさい。
（本の帯を作るつもりで簡潔に表現すること。）

記述式テキスト（短文回答）

第５問

現代社会において「併存性」が実現できるとしたら、どのような方法が考えられるか。私たちの日常生活に即して、具体的なあり方を百字以内で書きなさい。
（班の話し合いを参考にしてよいが、あなたの考えを述べること。）

記述式テキスト（長文回答）

2-2　ジャムボード（Ｔチャートへの入力）

４～６人ほどで班を作り、お互いの意見を出し合いながら、ジャムボードの表内に付箋をる取り組みである。

班での取り組みの後は、班ごとに簡潔に発表させる。

話し合いの様子と発表については観察評価を行う。

伝統的社会	２班	現代社会
直接	人間関係 (直接的か間接的か)	間接
	媒介するもの	貨幣
目に見える人たち	関係の対象 (どんな人たちか)	目に見えない人たち
直接的な依存関係	生活の基盤 (どんな関係か)	間接的な依存関係
ムラ的共同性 ひととひととのつながり 同質性	生活する上で重視するもの	能力や欲望の可能性の追求 個性や自由
	精神面	同質性 みんな同じでなければならないという精神面 関係性のゆがみ

2-2　ジャムボード（オープンエンドな問い）

基本的には、2-2のように、表内に付箋を貼る（もしくはテキストで書き込む）といった取り組みをさせるが、授業の内容によっては、（正解の無い）オープンエンドな問いについて、自由に意見を出し合わせる。

特に単元の終わり際には、今後の自分の生き方に活かせるよう、発展的な問いを出し、より自由な意見を出し合うように導く。

並存性の実現方法　５班

- 話し合い
- 視野を広げる
- 異なる価値観を個性と捉える
- 尊重する
- 自分をもつ
- 対話
- 否定から入る社会をなくす
- ほどよい距離感
- 自分の意見をはっきり伝える
- 様々な知識を持つ
- 互いの意見を認め合う
- 色んな世界を知る
- 狭いコミュニティで完結しない
- その場に合ったルールを作る
- ポジティブ

3-1　授業プリント①

本資料は、公開授業で行った「共同性の幻想」の第三段落の復習に該当する。授業終了時にプリントを配付し、取り組み後はファイリングさせ後日評価する。

意味段落ごとにプリントを配付し、授業の進度に応じて、その都度問題を解かせる。内容は平易なもので、復習となる。
（基本的に教科書会社の資料を用いている。）

共同性の幻想〈菅野仁〉

第三段落【教科書九一・7～九三・5】

■漢字

一　傍線部のかたかなを漢字に直しなさい。

① 体力をショウモウする。　［　　］
② 憂いをオびた瞳。　［　　］
③ 担当者とキンミツな連絡を取る。　［　　］
④ ジュウライの方法。　［　　］
⑤ チュウショウ画を描く。　［　　］
⑥ カヘイ経済。　［　　］
⑦ ケイザイ的に自立する。　［　　］
⑧ 他者にイソンする。　［　　］
⑨ 生活キバン。　［　　］
⑩ 賞金をカクトクする。　［　　］

二　傍線部の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

① 人々の精神的構え。　［　　］
② 細かく引き裂く。　［　　］

■語彙

一　次の表現の教科書本文における意味を調べて書きなさい。

① 媒介
意味［
② 表裏一体
意味［

3-2　授業プリント②

本資料は前のスライド3-1の続き、プリントの裏面にあたる。

前面は語彙、裏面は内容と評価となる。

なお、評価については意味段落ごとの自己評価とし、授業内のグループワークで、自分の考えをメンバーに伝えることができたか等を、４段階で評価させている。

■内容

一　「同質性」（九一・8）とはどのような人間のあり方か。空欄に当てはまる言葉を本文から抜き出しなさい。

「（　　）」ということを重視するあり方。

二　「そこ」（九一・11）の指示内容を、本文から十字で抜き出しなさい。

［　　］

三　「それ」（九二・3）とは何か。次の空欄に当てはまる言葉を本文から抜き出しなさい。

（　　）な形で、直接的でなく（　　）・

（　　）な性質を帯びて広がっている、現代社会における

人間の（　　）。

四　「こうした関係性の歪（ゆが）み」（九二・3）とはどのようなものか。空欄に当てはまる言葉を本文から抜き出しなさい。

背景　（　　）の発展

←

人々は（　　）や（　　）を獲得

⇔

「みんないっしょ」を強要する（　　）の下に置かれる

■第三段落の学びについて自己評価をしてみよう。

【思考】気になるところを見つけるなど、頭を使っていたか？　（◎・○・△・×）

【判断】理由をつけて考え、判断することができたか？　（◎・○・△・×）

【表現】考えたことを言葉や文章にして伝えることができたか？（◎・○・△・×）

国語　学習振り返りシート

１年(　　)組(　　)番　氏名(　　)

分類〔　　〕教材名「　　」作者名(　　)

【目標】　対比関係を用いて論じられる文章の構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握しよう

【学習計画・ふりかえり】

段階	時	学習内容	今日の学習で学んだこと
基本	1	・学習課題(初発) ・本文通読	
	2	・筆者の主張を捉える ・学習課題(まとめ)	
	3	・「水の東西」の対比を捉える(グループ)	
	4	・対比を整理して図にまとめる(個人)	
応用	5	・「和の思想」の対比を捉える	
	6	・対比を整理して図にまとめる ・構成の違いや効果を知る	

学習課題　(初発)「水の東西」の段落の内容・役割をまとめよう(主)

第1段落	第２段落	第３段落	第４段落

学習課題　(まとめ)「水の東西」の構成の特徴と効果についてまとめよう(知)

構成の特徴	構成の効果

応用課題　「水の東西」と「和の思想」を比較して、構成の違いについて気づいたことをまとめよう(知)

構成の違い	構成の効果

１年生「現代の国語」ルーブリック評価

観点		評価基準			評価方法
		A	B	C	
知識・技能	・言葉の特徴や使い方	①語彙が豊富 →内容理解・発表・成果物に生かしている	①語彙が多い	①読めない漢字や分からない漢字が多い	定期テスト（知技） 小テスト 提出物・成果物
	・情報の扱い方	②情報同士の関係性に注目し、読解や表現に生かしている	②文脈に応じて意味を選択できる	②文脈に応じて意味を選択できない	
思考・判断・表現	A 話すこと 聞くこと B 書くこと C 読むこと	①目的や場合に応じて話し方・聞き方・書き方を工夫 →他者理解・相互理解を深めて伝え合う	①目的や場合に応じて話し方・聞き方・書き方を工夫	①目的や場合に応じて話し方・聞き方・書き方を工夫できていない	定期テスト（思判表） 小テスト 提出物・成果物
		②優れた読み手・書き手が使っている方法を十分に理解 →効果的に実践	②優れた読み手・書き手が使っている方法を十分に理解	②優れた読み手・書き手が使っている方法を十分に理解できていない	
		③論理的な文章の内容を読み取る →自己の思考や表現に生かしている	③論理的な文章の内容を読み取る	③論理的な文章の内容を読み取りができていない	
主体的に学習に取り組む態度	・言葉を通して他者、社会に関わる	①自己評価の仕方を理解 →それを踏まえた自己修正・自己改善力を身につけている	①自己評価の仕方を理解	①自己評価ができない	OPP シート 提出物・成果物 発表・行動の分析
		②他者に対してのフィードバックができる →有益なもの	②他者に対してのフィードバックができる	②他者に対してのフィードバックができない	